

2024 環境経営レポート(美しき小鹿野の郷から)

【対象期間:2024年4月~2025年3月】(2025年3月31日発行)



秩父札所32番 法性寺

有限会社 両神自動車商会 マツダオートザム秩父西

目 次

- ① 登録事業所の概要
- ② 対象範囲(認証・登録の範囲)
- ③ 環境経営方針
- ④ 環境経営目標と実績
- ⑤ 環境経営活動計画
(環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容)
- ⑥ 環境経営目標の実績
- ⑦ 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
- ⑧ 代表者による全体評価と見直しの結果
- ⑨ 環境への負荷自己チェック表

1. 登録事業者所の概要

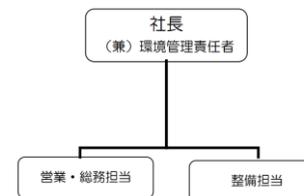
- (1) 事業所有及び代表者名
有限会社 両神自動車商会
マツダオートザム秩父西 社長 岩田 進
- (2) 所有地
店舗 〒368-0101 埼玉県秩父郡小鹿野町下小鹿野1166-5
電話 0494-75-3345 AX0494-75-0808
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当連絡先
責任者及び連絡先 社長 岩田 進
- (4) 事業の規模
- (5) 法人設立年月日
1969 年 4 月 1 日
- (6) 資本金
500 万円

2. 対象範囲(認証・登録の範囲)

【事業内容】

自動車・カー用品の販売及び自動車整備

【事業の組織】



3. 環境方針

環境経営方針

<基本理念>

わたしたちは、ちちぶ圏域の望ましい環境増(スローガン)「荒川の清流が、未来につながり、だれもがいきいきと安心して暮らせるまち」に共感します。

そのために、ゆたかな水を守り、リサイクルに努め、低炭素な活動を、ひとりひとりが自主的に行う事業活動を目指します。

<行動指針>

1. 環境経営方針を実現するため、重点的取り組みとして、次のことを行います。
 - ① お客様に低燃費車の情報を提供し、できるだけ多く普及するよう努力します。
 - ② 中古品を再利用するよう努めます。
 - ③ 節電や分別の徹底によるリサイクルを行い、環境への負荷低減に努めます。
2. 事業活動に伴う環境関連法規等を遵守します。
3. ちちぶ圏域の望ましい環境像(スローガン)のために積極的に協力します。

2018年4月5日
有限会社 両神自動車商会
マツダオートザム秩父西
社長 岩田 進

4. 環境経営目標と実績

【環境負荷の実績】 (2024年4月～2025年3月)

項目	年度		2024年度
二酸化炭素排出量削減 (対基準年：1.0%/年削減)	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	23,325
	購入電力量	kWh/年	25,769
	ガソリン使用量	リットル/年	2,832
	軽油使用量	リットル/年	1,190
	LPG使用量	Kg/年	10
廃棄物排出量	事務系一般廃棄物	Kg/年	558
	リサイクル(廃油)	kℓ/年	2.3
水使用量		m ³	102

【中期経営目標】 (2025年4月～2027年3月)

取組項目	基準年度	単位	環境経営目標		
	2024年度実績値 2024.4～2025.3		2025 年度	2026 年度	2027 年度
CO ₂ 削減	23,325	増減率	-1.0%	-1.0%	-2.0%
		kg-CO ₂	23,092	23,092	22,858
電力量削減	25,769	増減率	-1.0%	-1.0%	-2.0%
		kWh	25,511	25,511	25,254
燃料削減 ガソリン L	2,832	増減率	-1.0%	-1.0%	-2.0%
		ℓ	2,804	2,804	2,775
廃油・廃タイヤの リサイクル	廃棄量ゼロ	廃棄量 ℓ。本	0	0	0
節水の取組	102	増減率	-2.0%	-2.0%	-2.0%
		m ³	100	100	100
エコカー販売		増減率	+15%	+20%	+25%
リサイクルセンタ 協力		部品交換者に安価で提供			
地域環境活動		環境経営レポートの提示、町の清掃活動 に参加			

【備考】 電力の排出係数は各社2024年発表の係数使用
 増減率とは基準年度に対する比率
 エコカーとは、燃費25km/ℓ以上の車と定義

5. 環境経営活動計画及び

環境経営活動計画の取組結果とその評価、対象期間以降の取組

項目		2024年度の取組計画と取組内容	結果	2025年度活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電力使用量の削減	① 冷房27℃、暖房22℃ ② 空調機フィルター清掃 ③ 作業休憩時の消灯、不要電気OFF ④ 夜間、休日はPC, プリンターの主電源OFF	猛暑のため空調機の 使用過多	継続
	燃料使用量の削減	① エコドライブ教育（アイドリングストップ、 急発進、急加速、急停止、空ぶかし防止） ② タイヤ空気圧チェック（6か月毎）	各項目とも実施 さらなる工夫必要	継続
廃棄物排出量 の削減	廃油・廃タイヤの リサイクルの徹底	① 分別種類の表示 ② 使用可能な自動車部品の保管徹底	廃油リサイクル徹底 リサイクル部品推奨	継続
節水の取組		① 節水表示を行う ② 水道の流しっぱなしをやめる ③ 洗車時は水を汲んで行う	実施確認するも さらに徹底を	継続
グリーン購入		① リサイクルセンターと協力、コスト削減工夫 された交換部品の提供		
地域環境活動		① 環境経営レポートを掲示 ② 町主催のクリーンデイに参加	* 下記活動	継続

* 今年度の取組としてペットボトルとキャップを回収し地元の高校へ寄付の実施
古紙を回収し（リサイクル可能な状態にまで分別）地元へ協力する

6. 環境経営目標の実績と評価(2024年度)

2024年4月～2025年3月

取組項目		目 標	実 績	評 価
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	基準年度比 -3.0% 25,716Kg-CO2	基準年度比 -12.0% 23,325kg-CO2	○
	電力使用量	基準年度比 -3.0% 28,701KWh	基準年度比 -12.9% 25,769KWh	○
排出量削減	燃料使用量 (ガソリン)	基準年度比 -3.0% 4,462ℓ	基準年度比 -61.6% 2,832ℓ	○
	廃油・廃タイヤの リサイクルの徹底	廃棄量ゼロ	廃棄量ゼロ	○
節水の取組		基準年度比 -1.50% 119.2	基準年度比 -15.70% 102m ³	○
販売商品の環境配慮 エコカーの販売計画台数達成		+25%	+25%	○
回収部品をリサイクルセンター より取寄せ		協議の上推進		○

7. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。(2024年度)

法規名	該当する項目	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none">・ 保管基準の遵守（廃棄物置場の表示、衛生管理）* 産業廃棄物を委託した場合は下記の遵守事項・ 廃棄物処理契約書、委託先業者の許可証確認・ 廃棄物処理契約書、委託先業者の許可証確認・ マニフェスト交付状況報告	遵法
水銀汚染防止法	<ul style="list-style-type: none">・ 水銀汚染防止のための措置	遵法
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・ 使用済自動車の適正処理	遵法
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none">・ 水質汚濁防止の措置・ 油水分離装置の管理	遵法
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none">・ 浄化槽の清掃、保守点検、定期検査	遵法
消防法（危険物）	<ul style="list-style-type: none">・ 少量危険物の貯蔵及び取扱の基準遵守	遵法
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none">・ 空調設備の点検・ エアコン廃棄後の点検記録を3年間保管（改正追加事項）	遵法
小鹿野町 環境基本条例	<ul style="list-style-type: none">・ 事務系廃棄物の適正処分・ ごみの減量努力、廃棄物の焼却禁止	遵法

環境関連法規等の遵守状況は、定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去5年間にわたって違反や訴訟も発生していません。

8. 代表者による全体評価と見直し結果

(1) 全体の確認・評価

項目	報告内容（要旨）	代表者の評価
1. 環境目標の達成状況 環境活動計画の実施状況	・ 2024年度環境経営目標、環境経営計画 及びその取組結果の報告	昨年同様に、効果が出ている。全社一丸となり、 基づき、環境経営を理解し、努力 した結果だと考える。各人が、担当部門での工夫 をしたことに加え、社内全般の問題について創意 工夫をした結果だと思う。 2024年度は、前年問題となった軽油の使用量も減 少、従業員の努力だと思っている。
2. 外部コミュニケーション	・ 環境コミュニケーションの記録	地域からの苦情も発生していない状態が継続して いる。地域との連携した活動が推進できた。 商圏を拡大できない状況なので、地域住民との 繋がり、連携が非常に大きなウェイトとなる。
3. 環境関連法規制等の遵守 状況	・ 2024年度環境関連法規制等の確認結果 報告	法令順守をした活動の推進ができた。この状態を 継続していきたい。メーカーなどからの提供も あり、厳しく対応ができています。法令改正などあ るが、抜けることなく推進していきたい。
4. 是正措置及び予防措置の 実施状況	・ 問題点に対する確実な是正措置及び 日常活動の気づきからの予防措置実施	2024年度も、2023年度以上に環境経営活動を推進 することができた。エネルギー価格の急激な高騰 時、経営にも寄与している。

8. 代表者による全体評価と見直し結果

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の 要否	指示事項等	回答者	回答日	回答内容
1. 環境経営方針	否	当分の間、この方針のまま 継続していく。	代表	2025年4月1日	
2. 環境経営目標	否	当初立案した環境経営目標の数値 で毎日のルールを守りながら、達成 を目指しながら継続していく。	代表	2025年4月1日	日常活動を徹底することで さらなる高みを目指していく。
3. 環境経営計画	否	2025年度から新規中期経営計画と なる。同様に全社一丸努力していく。	代表	2025年4月1日	
4. システム運用	否	継続運用していく。	代表	2025年4月1日	
5. その他	否	顧客車の部品交換に、安全性を担保 した、リサイクルパーツを推奨して 件数を増やしていく。	代表	2025年4月1日	リビルド品実績10件/年を達成し 顧客満足を高めることで、資源の 有効活用につなげる。リビルド品 活用で二酸化炭素発生の抑制する。

9-1 環境への負荷自己チェック

1. 事業の規模

○ エネルギー使用量等の環境負荷の総量のデータを原単位で把握するために用います。

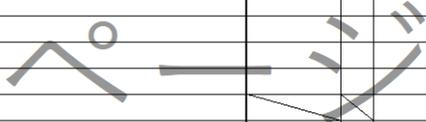
指標	単位	対 象 期 間				
		(2020年 4月～2021年 3月)	(2021年 4月～2022年 3月)	(2022年 4月～2023年 3月)	(2023年 4月～2024年 3月)	(2024年 4月～2025年 3月)
従業員数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
売上高	万円	150.00	150.00	149.00	149.00	149.00
床面積	m2	825.00	825.00	825.00	825.00	825.00
生産高	万円					
生産量	t					
運搬量	t					
運送距離	km					
()						
()						
()						

9-2 環境への負荷自己チェック

2. 環境への負荷の状況 (取りまとめ表)

- 本取りまとめ表は、「3. エネルギー使用量」「4. 一般廃棄物排出量」「5. 産業廃棄物排出量」「6. 水使用量」「7. 化学物質使用量」を一表に取りまとめたもので、各表の黄色のセルの合計値が自動で入力されるよう設定しています。
(黄色のセルは自動で入力されます)
- 「環境負荷の要因となる主な活動・設備等」については、できる限り具体的に書いてください。
- 太枠内に前年度や基準年度等のデータを入力することにより、取組の効果を評価することができます。

項目	2024年4月～2025年3月				(年 月～ 年 月)				(年 月～ 年 月)				
	量	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	環境負荷の要因となる主な活動・設備等 (具体的に)	量	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合
エネルギー 使用量 (シート: 3. エネルギー 使用量)	電力1 ミツウロコでんき	15,337.00 kWh	500,224	7,637.83	32.7%								
	電力2 東京電力	10,432.00 kWh	424,085	5,549.82	23.8%								
	電力3												
	電力4												
	電力5												
	ガソリン	2,832.00 L	1,855	6,570.24	28.2%								
	軽油	1,190.00 L	1,640	3,070.20	13.2%								
	灯油	188.00 L	548	468.12	2.0%								
	A重油												
	都市ガス												
	液化石油ガス (LPG)	9.52 kg	27,180	28.57	0.1%								
	液化天然ガス (LNG)												
合計 (エネルギー)		955,532	23,324.78	100.0%									
一般廃棄物総排出量 (シート: 4. 一般廃棄物排出量等)	558.00 kg	21,392											
産業廃棄物総排出量 (シート: 5. 産業廃棄物排出量等)													
中間処理量													
うち再資源化量													
最終処分 (埋立) 量													
産業廃棄物 (特別管理) 総排出量 (シート: 5. 産業廃棄物排出量等)													
中間処理量													
うち再資源化量													
最終処分 (埋立) 量													
水使用量 上水 (シート: 6. 水使用量及 び総排出量)	102.00 m3	20,790											
工業用水													
地下水													
化学物質 使用量 (シート: 7. 化学物質使 用量)													



9-4 環境への負荷自己チェック

2) 化石燃料

①～⑦に該当しない項目で大量に使用しているエネルギーがある場合には、⑧以降の表に入力してください。

排出係数は「地球温暖化対策の推進に関する法律」の単位発熱量と炭素排出係数を用い、算出しています（「単位発熱量」×「炭素排出係数」×44/12）。【参考】二酸化炭素の分子量は44、炭素の原子量は12。

ガソリン

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計	月平均
使用量	L	237.00	133.00	287.00	240.00	201.00	248.00	284.00	211.00	274.00	244.00	248.00	225.00	2,832.00	236.00
料金	円	152	153	154	154	152	150	150	152	153	159	163	163	1,855	155
CO2排出量	kg-CO2	549.84	308.56	665.84	556.80	466.32	575.36	658.88	489.52	635.68	566.08	575.36	522.00	6,570.24	547.52

軽油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計	月平均
使用量	L	125.00	76.00	136.00	92.00	74.00	92.00	83.00	101.00	126.00	70.00	148.00	67.00	1,190.00	99.17
料金	円	133	136	137	136	135	133	134	134	135	141	143	143	1,640	137
CO2排出量	kg-CO2	322.50	196.08	350.88	237.36	190.92	237.36	214.14	260.58	325.08	180.60	381.84	172.86	3,070.20	255.85

灯油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計	月平均
使用量	L	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00	20.00	83.00	10.00	188.00	15.67
料金	円	116	0	0	0	0	0	0	0	100	104	120	108	548	46
CO2排出量	kg-CO2	87.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	99.60	49.80	206.67	24.90	468.12	39.01

A重油

排出係数： kg-CO2/L

項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

都市ガス

排出係数： kg-CO2/m3

項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計	月平均
使用量	m3														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

※都市ガスの排出係数「2.16」は地球温暖化対策推進法施行令に示された標準状態での単位発熱量を多くの地方公共団体が都市ガス供給を受ける際の一般的と考えられる条件（温度15℃、1.02気圧）の体積当たり換算した値。

9-6 環境への負荷自己チェック

4. 一般廃棄物排出量等

- 内訳については、上段に廃棄物の種類（可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ等）を、下段の括弧内には当該地方公共団体等における処理方法等（焼却、最終処分（埋立）、再資源化等）を、それぞれ入力してください。
- 処理費用には、収集運搬及び処分に関わる費用の合計を入力してください。
- 処理費用について、再資源化のために有価物として売却している場合は、金額をマイナスで入力してください。
- 「特別管理一般廃棄物」は、病院及び診療所等から排出される感染性廃棄物、エアコン・テレビ・電子レンジに含まれるPCBを使用した部品等の廃棄物処理法施行令第1条に定められている一般廃棄物が該当します。

(1) 一般廃棄物

内訳	項目	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計
()	排出量	kg	40.00	67.00	36.00	41.00	63.00	39.00	49.00	38.00	48.00	57.00	35.00	45.00	558.00
	処理費用	円	1,430	2,579	1,430	1,578	2,425	1,430	1,886	1,430	1,848	2,194	1,430	1,732	21,392
()	排出量	kg													
	処理費用	円													
()	排出量	kg													
	処理費用	円													
()	排出量	kg													
	処理費用	円													
()	排出量	kg													
	処理費用	円													
合計	総排出量	kg	40.00	67.00	36.00	41.00	63.00	39.00	49.00	38.00	48.00	57.00	35.00	45.00	558.00
	処理費用	円	1,430	2,579	1,430	1,578	2,425	1,430	1,886	1,430	1,848	2,194	1,430	1,732	21,392

9-7 環境への負荷自己チェック

6. 水使用量及び総排水量

(1) 水使用量

- 製品の生産において原材料等として投入される水は、「8. 資源使用量」で把握してください。
- サイト内で循環的に利用している水は、使用量に含めないください。

種類	内訳	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計
上水	使用量	m3	16.00		20.00		20.00		18.00		14.00		14.00		102.00
	料金	円	3,388		3,696		3,696		3,542		3,234		3,234		20,790
工業用水	使用量	m3													
	料金	円													
地下水	使用量	m3													
	料金	円													
	使用量	m3													
	料金	円													
合計	使用量	m3	16.00		20.00		20.00		18.00		14.00		14.00		102.00
	料金	円	3,388		3,696		3,696		3,542		3,234		3,234		20,790

(2) 総排水量

種類	内訳	単位	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	合計
公共用水域	河川	排水量	m3												
	湖沼	排水量	m3												
	海域	排水量	m3												
		排水量	m3												
		排水量	m3												
下水道	排水量	m3													
	料金	円													

注：公共用水域への排水にあたり、排出量料金等が必要な場合は、これを把握することが望まれます。